

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

大竹明新化学株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県大竹市明治新開1番7

(3) 業種

塗料製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27（2015）年度を基準年度とし、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（%）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成27年度 (2015)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂	4,575	4,373 4.4	3,952 13.6	3,818 16.6	3,582 21.7	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	4,575	4,373 4.4	3,952 13.6	3,818 16.6	3,582 21.7	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産数量

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成27年度 (2015)	令和7年度 (2025)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.09361	0.08421 10.0	0.1027 -9.7	0.1005 -7.4	0.1054 -12.6	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	2020年度以降はコロナ禍において生産量が大きく減少したが2022年度は前年度より回復傾向が見られた。 しかし、2022年度末に弊社にて火災事故を起こしたため、生産調整を余儀なくされ再び生産量を減少させてしまい、エネルギー原単位としては期待した数値が得られなかった。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	重油使用に関わる原単位の削減目標を0.6%とした。	熱媒ボイラーの更新 蒸気トラップの更新
2	電気使用料の削減	電気使用に関わる原単位の削減目標を0.4%とした。	冷媒送液用ポンプの更新 樹脂製造釜熱媒循環ポンプの更新
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。